

# 研究実施のお知らせ

2021年6月30日 ver.1.0

## 研究課題名

島根大学医学部附属病院における共同性外斜視に対する plication-後転術と前後術の術後経過の比較検討

## 研究の対象となる方

島根大学医学部附属病院で共同性外斜視と診断、手術適応かつ手術に同意が得られたうえで、plication-後転術は2019年8月22日から2021年1月31日までの間に手術を行い、術後半年まで経過が追えた全患者。従来法の前転術はplication-後転術と同一術者が斜視手術を当院で開始した2014年11月6日からplication-後転術に移行するまでの、2019年8月22日までに手術を行い、術後半年まで経過が追えた全患者。

## 研究の目的・意義

斜視とは眼位の異常であり、人口の約3%にみられるとする統計もあります。物を見ようとする時に片目は正面を向いていても、もう片目が違う方向を向いてしまっている状態が斜視です。片目が正常な位置にあるときに、外側に向いてしまっている状態を外斜視といいます。斜視の原因としては外眼筋や神経の異常、屈折異常、脳の病気、全身性の疾患に伴うものがあります。斜視の原因としては外眼筋や神経の異常、屈折異常、脳の病気、全身性の疾患に伴うものがあります。

斜視の根本的治療として手術があげられます。今までは水平斜視に対する手術において、筋強化手術のスタンダードは短縮術という筋を切離す手術でした。従来法の前転術では短縮術の際に切筋して強膜に縫合するため、切筋した際に断端からの出血は避けられず、前眼部虚血をきたすことがあります。また、切筋した際に筋を見失ったり、筋が非薄化している症例では操作の途中で筋線維が裂けてしまい、強膜との縫合が困難になることがあります。

Plicationとは、筋を付着部から切離せず折りたたむ術式です。低侵襲、という最大の利点があります。術中の利点として、筋断端からの出血が生じないため術操作が容易となります。またplicationは術量が多くても比較的操作が容易となります。術後の利点として筋を見失う可能性がなくなります。また、切腱しないため眼の虚血を回避できる可能性が示唆されています。さらに、術後の再手術も比較的容易に行うことが可能です。

本研究の目的は、外斜視の患者に対しplication-後転術を行った患者と、従来法であ

る前後転術を行った患者の術後経過を比較検討することです。

## 研究の方法

島根大学医学部附属病院眼科における外来受診にて外斜視と診断し、手術適応とみなされた患者に対し、今までは内直筋(眼を動かす筋肉のうち眼の内側の筋肉)を短く切って白目に縫合する前後術を行ってきました。最近になって、筋肉を切らずに折りたたんで白目に縫合するplicationを行っております。斜視の術後眼位は術後3～6か月で落ち着くことが多いため、術後6か月まで経過が追えた方で、術後1週間、1か月、3か月、6か月時点での術後斜視角度や合併症などを調査します。

- ・利用する情報は患者カルテから次のものを利用します。(視力、眼圧、性別、年齢、斜視検査結果、HESS 検査、顕微鏡によるスリット写真、眼位写真、術中動画)
- ・研究で用いる情報は匿名化し取り扱います。研究対象者の識別は研究用に付与する識別番号によって行い、研究対象者との対応表は収集データとは別に研究責任者が保管します。研究結果公表の際にも、個人の特定につながる可能性のある情報は一切使いません。

## 研究の期間

2021年8月27日～2025年12月30日

## 研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を特定できる情報を使用することはありません。IPD シェアリングは行いません。

## 研究組織

この研究は島根大学医学部眼科学講座が行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）：  
島根大学医学部眼科学講座 持地美帆子

## 情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2022年3月までお願いいたします。それ以降は

解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

#### 相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部眼科学講座 持地美帆子

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2284 FAX 0853-20-2278